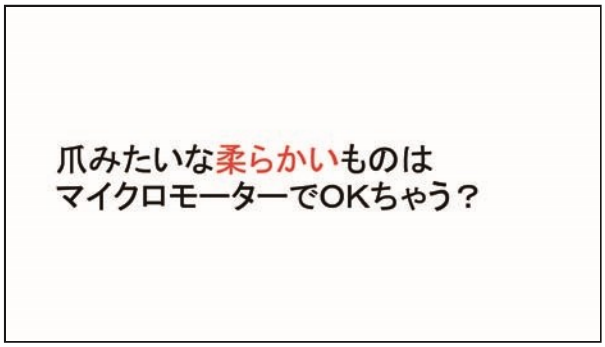
演題 1	歯科技工用マイクロモーターを用いた爪削術
	発　表　者　齋藤　卓也（滋賀県　長浜市立湖北病院） 共同研究者　目片　久隆

厚くて硬い爪です。自分では切れません。爪を切って欲しいという患者が病院に押し寄せます。一般の開業医やデイサービスでは出血リスクを恐れて爪切りをしてもらえません。いわば「爪切り難民」というべき状況です。

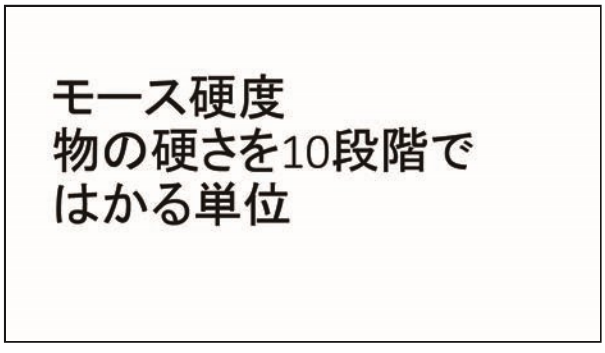


切れないのならドリルで削ってしまえ、削るといえば、歯医者さん。

当院の歯科医に相談しました。思わぬ答が返ってきました。

爪みたいな柔らかいものは、マイクロモーターで OK ちゃう？

そうなんです。歯科医は人間の体でもっとも硬度が高い歯と日々格闘しているのです。

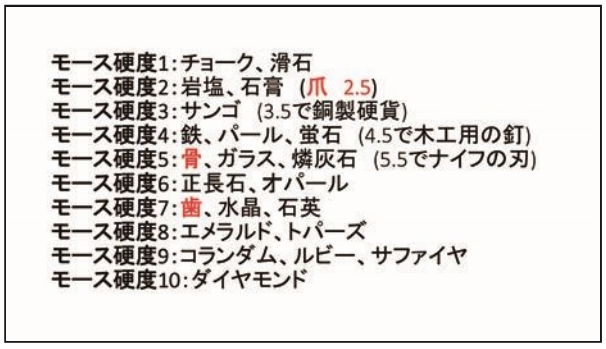


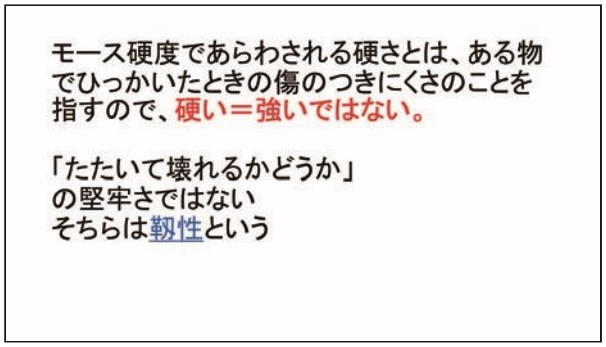
モース硬度とは物の硬さを10段階ではかる単位です。

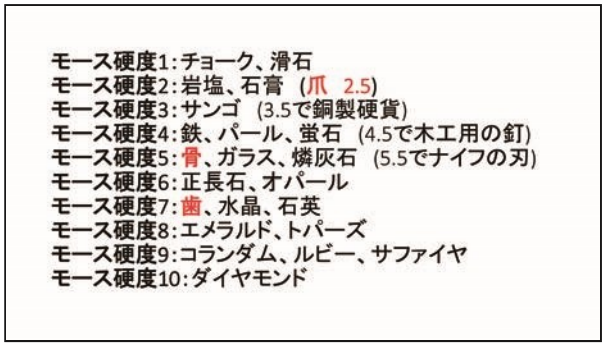
もちろん、一番硬いのはダイヤモンドです。10です。

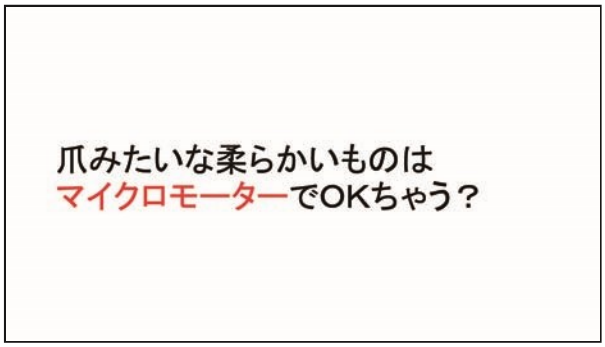
歯は７です。骨が５、爪はなんとたったの2.5です。

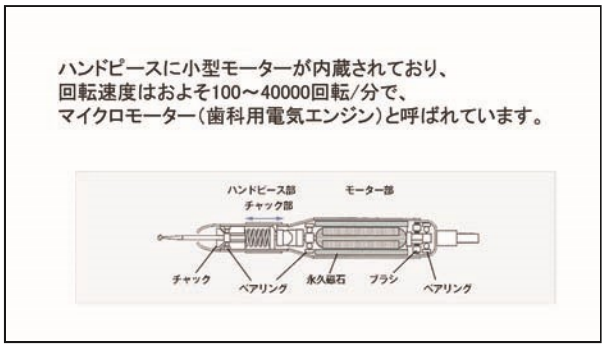
やる気がわいてきました。





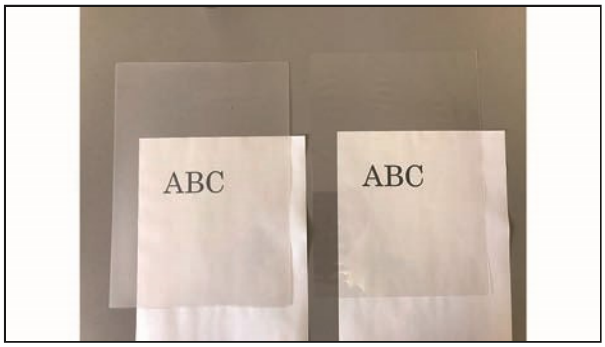


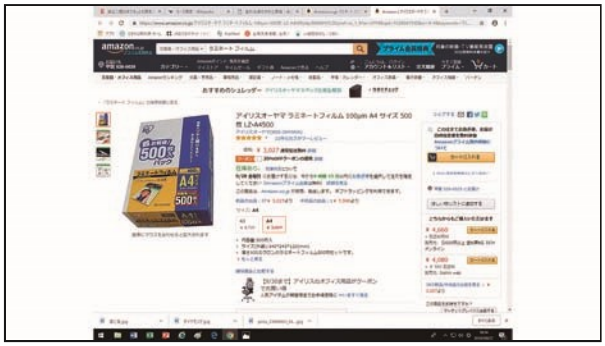


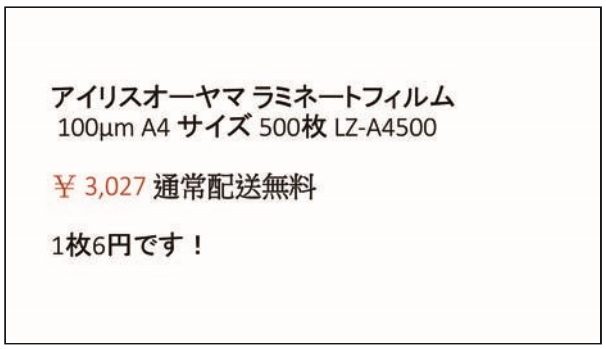


マイクロモーターの断面図です。ハンドピースに小型モーターが内蔵されており、回転速度はおよそ100～40000回転／分です。

マイクロモーター（歯科用電気エンジン）と呼ばれています。







飛び散る爪の防御には、ラミネートフィルムが便利です。

アマゾンで価格を調べてみました。

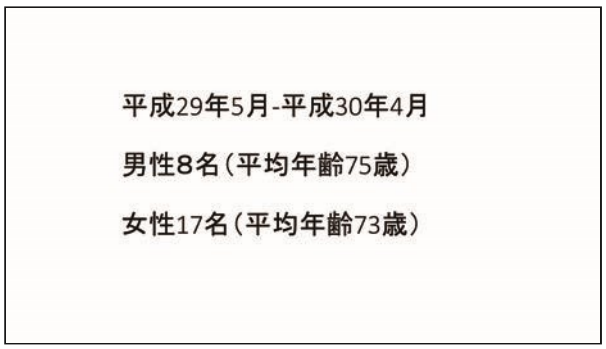
アイリスオーヤマラミネートフィルム

100μm A４サイズ500枚 LZ-A4500

￥3, 027通常配送無料

１枚６円です！

先ほどの爪を削りました。すごく奇麗になりました。痛みもなくなりました。靴を履けるようになりました。



平成29年５月から平成30年４月の１年間で
男性８名（平均年齢75歳）
女性17名（平均年齢73歳）
の爪を削りました。